

## 総合計画PDCAシート《令和元年度》

施策コード	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち
5	施策目標	5	公園・緑地の充実

目指すべきまちの姿 公園・緑地の緑と自然の水辺にふれあえ、憩いとうるおいのある生活環境が整っています。

●主要施策と概要	この1年間の成果及び反省点	担当課	評価
(1) 公園・緑地整備に関する指針の策定 ・公園・緑地の整備及び緑化を総合的、計画的に進めるため、その指針となる緑の基本計画を策定します。	・第2次総合計画や都市計画マスタープランなどに位置づけられたまちづくり計画の進捗状況を確認しながら、策定予算を確保する必要があります。	都市整備課	D
(2) 公園・緑地の整備・保全 ・老朽化が進む公園施設の安全・安心の確保のため、公園・緑地の管理体制の充実と、その有効活用に努めます。	・管理業務委託により公園緑地の適正管理に努めると共に、長寿命化計画に基づきプランク撤去を行い施設の長寿命化に取り組みました。	都市整備課	A
(3) 親水空間の整備・保全 ・三ツ又池公園について、国、県、関係機関等と連携し、水生植物園の再生や芝桜の計画的な植栽を行うとともに、施設の修繕や除草等の維持管理を適切に行い、市民が集う親水空間の整備・保全を図っていきます。	・水生植物園の再生について、県施工により基盤造成工事の一部を計画どおり実施しました。また、芝桜の植栽について、目標面積達成に向けて植栽を行いました。引き続き、計画的に各施策を実施していきます。	農政課	A

●施策目標に対する市民満足度	単位	現状値 (2017年度)	目指す方向性	中間値 (2022年度)
公園・緑地の整備	%	26.3	↗	

●成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値 (目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(1) 1人当たり都市公園面積	㎡/人	2.9	2.9					3.0	3.1
(2) 長寿命化計画に基づく都市公園の施設整備	施設	0	8.0					14	27
(3) 三ツ又池公園の水生植物園の再生	か所	0	0					1	1
(3) 三ツ又池公園の芝桜の植栽面積	㎡	7,901	8,151					9,434	9,434

事業No	実施計画に係る事業名	担当部署	必要度	達成度	施策貢献度	事業実施状況に関する所見
(2)	公園管理事業等	都市整備課	100	0.8	高	今後も現状(計画・予定)どおり事業を進めることが妥当と考えられます。

**施策の今後の方針**
 今後も、長寿命化計画に基づく都市公園施設の修繕・更新や子供の遊び場については、施設点検結果に基づき適切な維持管理と計画的な施設更新が必要になります。令和3年度には都市公園3公園の施設修繕が予定されています。また、三ツ又池公園につきましては、引き続き芝桜等の植樹祭や親水空間の整備・保全を図る必要があります。

第2次総合計画・実施計画事業評価シート

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2)	公園管理事業等	都市整備課	公園緑地グループ	令和2年6月22日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち	重点施策
	施策目標	5	公園・緑地の充実	
	主要施策	2	公園・緑地の整備・保全	
	主要事業		公園管理事業等	

■事業内容

事業目的	利用者が、安全、快適に利用できるよう、公園施設を適正に管理します。				主な協働・関連団体等	
事業概要	公園遊具の安全点検、除草等の公園管理を実施します。公園施設長寿命化計画に基づく施設の整備、修繕を実施します。				関連する個別計画・根拠法令等	公園施設長寿命化計画
事業の開始・終了	開始年度	2019	年度	終了年度		年度

■事業費(単位:千円)

	2019年度(実績)		2019年度(計画)		2020年度(計画)		2021年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
事業内訳	委託料	33,627	委託料	31,000	委託料	31,000	委託料	31,000
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	工事請負費	1,176	工事請負費	1,200	工事請負費	2,700	工事請負費	2,200
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
事業費(直接経費)	34,803	事業費(直接経費)	32,200	事業費(直接経費)	33,700	事業費(直接経費)	33,200	
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	

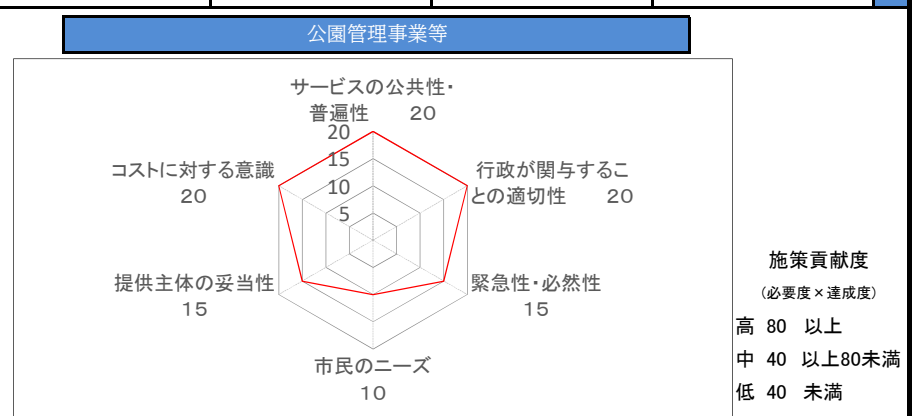
成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(1) 1人当たり都市公園面積	m <sup>2</sup> /人	2.9	2.9					3.0	3.1
(2) 長寿化計画に基づく都市公園の施設整備	施設	0	8					14	27
(3) 三ツ又池公園の水生植物園の再生	か所	0.0						1.0	1.0
(3) 三ツ又池公園の芝桜の植栽面積	m <sup>2</sup>	7,901						9,434	9,434

指標の分析 (1)について、厳しい財政状況において公園を新設することが困難となっています。したがって、長期的(5~10年)に取り組んでいく必要があります。(2)について、施設及び遊具の老朽化が進んでいる公園もあり計画的に整備しています。

### ■事業の評価

サービスの公共性・普遍性	行政が関与することの適切性	緊急性・必然性	市民のニーズ	提供主体の妥当性	コストに対する意識	配点
評価の選択 ①	評価の選択 ①	評価の選択 ②	評価の選択 ③	評価の選択 ②	評価の選択 ①	
①原則として全市民に提供されており、日常生活に欠かせないサービス	①法令・条例・規則等により実施が義務付けられている事務・事業	①災害等緊急事態への対応、首長のマニフェストなどにより最優先で実施するべきと考えられる事務・事業	①議会や市民から要望が強く早期に実施する必要がある	①公権力の行使に当たるなど、市が自ら実施すべき事務・事業	①必要最低限の経費で取り組んでおり、成果の向上が図られている事務・事業	20
②原則として全市民に提供されるサービスであるが、日常生活では選択の可能性があるサービス	②国、県、市等の共同実施による事務・事業	②日常的に安全・安心な生活を確保するために、優先的に実施すべきと考えられる事務・事業	②時代の変化とともに市民のニーズが増加している	②事業の一部を民間委託しており、適切に運営されている事務・事業	②コスト削減の余地がない事務・事業	15
③一定の個人や団体等に提供され、日常生活に欠かせないサービス	③民間では実施できない、または民間では実施していない事務・事業	③現時点での緊急性や切実度は低いものの、将来のために現在から実施した方が良いと考えられる事業	③市民のニーズが維持傾向であり、安定的にある	③事業の一部または全部を民間委託した方が市場性・効率性から良いと考えられる事務・事業	③事務の効率化・改善に取り組んでおり、今以上のコスト削減が難しい事務・事業	10
④一定の個人や団体等に提供されるサービスであるが日常生活では選択の可能性があるサービス	④民間に同様または代替できるサービスがあるが、質・量等が不足するため、これを補完する事務・事業	④時代の変化などにより現在では実施しなくても良いと考えられる事務・事業	④時代の変化等により市民のニーズが減少傾向であり、事務・事業に対する要望や要求が顕著とはいえない	④事業の一部または全部を民間委託すべきと指摘や検討がされているものの、委託に至っていない事務・事業	④例年規模の予算計上をほぼ継続している事務・事業	5

サービスの公共性・普遍性	20
行政が関与することの適切性	20
緊急性・必然性	15
市民のニーズ	10
提供主体の妥当性	15
コストに対する意識	20
評価点	100
必要度	100
達成度	0.8
施策貢献度	高



	事業実施状況に関する所見	その他
■課長	今後も現状(計画・予定)どおり事業を進めることが妥当と考えられます。	公園に関する都市計画の4つの観点から前ヶ須地区に公園整備を図り、都市の健全な発展と円滑な都市活動を確保する必要がある。